

(令和3年度第4回理事会承認)

令和4年度

事業計画書

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

基本方針

当協会の果たすべき役割は、健全な協会経営と次世代に対する啓発など投資的事業を両立させつつ、持続可能な形でスカイスポーツの振興と青少年の健全育成、そしてこのまちの発展に貢献することである。

近年、わが国は少子高齢化の一途をたどり、高齢者人口の増加や労働年齢の引き上げによる余暇時間の減少に加え、若年人口は減少し青少年のスポーツ活動やアウトドア活動離れが加速するなど、スカイスポーツを取り巻く状況は依然厳しいものがある。加えて、新型コロナウイルス感染症のまん延状況や国内外の観光客の動向など、社会情勢の変化傾向が不透明な状況にある。

そのような中ではあるが、本年の事業活動や協会運営にあたっては航空安全に最大限配慮するとともに、果たすべき役割の認識の下、変化する社会情勢を的確に見定めつつ、以下に計画する事業を着実に進めていく。

事業活動

I スカイスポーツに関する人材育成及び啓発普及、並びに地域の発展に寄与する事業（公益目的事業1）

1. スカイスポーツに関する人材の育成事業

北海道の豊かな空域資源を活用して、国内外の人たちにグライダーを初めとするスカイスポーツ航空機の操縦技術や整備技術を伝承し良質な指導者を養成することで、多くの人々に安全で楽しいスカイスポーツの場を提供する。

(1) 操縦伝承事業

① スクール/キャンプ事業

- ・サマートレーニングコース 8回実施する（各15名程度）

第1回：5月23日～5月27日 第5回：8月29日～9月2日

第2回：6月6日～6月10日 第6回：9月12日～9月16日

第3回：6月20日～6月24日 第7回：9月26日～9月30日

第4回：8月8日～8月12日 第8回：10月3日～10月7日

- ・ウィークリーコース シーズン中の平日に随時実施する
- ・ウィークエンドコース シーズン中の土日祝日に実施する
- ・グライダーキャンプの受入

ユースグライダーキャンプ2022の受入（スポーツ振興くじ助成事業）

8月15日（月）～8月19日（金）

② 指導者/選手養成事業

- ・アシスタントインストラクター制度の導入

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、操縦教員の養成を推進する。

③ 審査資格事業

- ・特定操縦技能審査

自家用操縦士（滑空機、動力滑空機）に対する特定操縦技能審査を実施する。

実施時期：随時

- ・航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験の受入

実地試験時期：10月（予定）

- ・日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験の実施

実施時期：随時

(2) 整備支援事業

協会所有の整備施設を活用して、たきかわスカイパークの常駐機または外来航空機に対し整備支援を行うとともに、整備技術の伝承を行う。

(3) 講習会事業

各種講習会の開催並びに講師の派遣

①愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催

安全講習会（異常姿勢回復訓練）の主管

主 催：北海道滑空協会

実施時期：9月～10月（予定）

対 象：北海道滑空協会所属団体の会員

講 師：未定

②各種講習会への講師派遣

（公社）日本滑空協会主催の滑空スポーツ講習会に講師を派遣する。

実施時期：11月～3月（2回程度を予定）

(4) 競技会の開催・支援事業

- ・クロスカントリーキャンプの開催（（一財）石狩川振興財団支援・助成事業）

競技会参加に際し求められる知識・技術を習得する第一歩として、中級者を対象としたクロスカントリーキャンプを実施する。

実施期間：9月（予定）

(5) 団体連携事業

国内の滑空団体と連携を進め、人的交流や情報交換を促進し、滑空スポーツの活性化や安全対策の強化を図る。また、海外のグライダー界の状況や、国内の愛好者の動静に注意を払い、国内外を問わず、多くの機会・媒体を捉えて、積極的に情報の収集・発信を行う。

①国内滑空団体との連携

- ・（公社）日本滑空協会、北海道滑空協会への事業支援

- ・全国グライダークラブミーティングへの参画

ミーティング（開催地、時期未定）及びオンライン会議（2回程度）への参加

②国際交流事業の推進

- ・教官の派遣

冬季間、南半球を訪れる日本人に対し、ニーズに合致した教育支援を現地グライディングセンターと協同して実施するとともに、滝川における国際選手権開催の可能性を探る。

期 間：令和4年12月～令和5年2月、各3週間程度

派遣先：オーストラリア国及びニュージーランド国

対象者：教官3名

- ・曳航パイロットの招聘

各種飛行事業を円滑に行うために、曳航パイロットを招聘する。

期 間：7月中旬～10月中旬、12週間

招聘先：オーストラリア国

対象者：1名

③情報の収集・発信

ホームページを最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容にしていくとともに、SNS等を活用した情報発信を行う。

2. 啓発普及事業

若年層へのスカイスポーツの普及を図ると同時に、地域の小中学校などの教育機関との積極的な連携を図る。また、現在使用されているグライダーのみならず、ヴィンテージグライダーが一般市民の目に触れる機会を増やすことで、グライダーの知名度向上を図る。さらに、(公社)北海道スカイスポーツ協会と連携を取り、グライダーにとらわれずスカイスポーツ全般の啓発に努める。

(1) 体験・青少年育成事業

①児童・生徒を対象とした体験学習の受入

- ・滝川市内全小学校及び周辺市町小学校の4～6年を対象に、各校1学年の児童のモーターグライダーや軽飛行機による体験学習を行う。

時期：6月～7月及び10月

- ・小中学校の児童・生徒の体験学習及び施設見学の受け入れ

時期：随時

②こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内のこどもたちを対象に、抽選で体験搭乗への招待等を実施する。

開催日：5月5日(木)

対象：道内の小学生

予定人数：体験搭乗50名程度

③ユース会員/青少年会員の活動支援

青少年から大学卒業後数年程度の若手パイロットを想定した各種の優遇処置を施し、若年層へのスカイスポーツの普及と次世代を担う航空人の育成を図る。

- ・青少年会員

年齢：10歳以上17歳以下

優遇措置：入会金免除、年会費・飛行会費等の青少年会員料金設定

- ・ユース会員

年齢：26歳以下

優遇措置：入会金免除、年会費・サマーレーニングコース参加費等の割引

④グライダー等による体験飛行会の実施

- ・滝川市民対象

実施期間：7月27日(水)～7月30日(土)

予定人数：200名

- ・一般市民対象

実施期間：4月中旬～11月中旬の間に随時

予定人員：500名程度

- ・滝川市ふるさと納税への協力

滝川市が実施しているふるさと納税の返礼品として、グライダー体験飛行券を提供する。

⑤「そらぷちキッズキャンプ」の支援

公益財団法人そらぶちキッズキャンプの要請により、難病などの病気とたたかう子どもを対象としたキャンプのスカイスポーツ体験プログラムに協力する。

実施期間：4月中旬～11月中旬の間に随時

(2) 文化振興事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

全国の古典機愛好者と連携して、航空文化財として歴史的価値の高いヴィンテージグライダー（古典機）の国内唯一の修理・展示・飛行を総合的に行える施設の整備を迫るとともに、世界の古典機クラブとの連携を模索する。

- ①ヴィンテージグライダーの耐空証明取得
- ②イベント等において、飛行展示、地上展示を行い、ヴィンテージプロジェクトの広報の実施
- ③体験飛行会の実施
- ④関連資料の分類・整理・公開

3. 地域の発展に寄与する事業

滝川市及びたきかわ観光協会等と連携して、「空」をテーマとした体験型観光事業を推進するとともに、地域の発展に寄与する事業の展開を積極的に図る。また、たきかわスカイパーク付近を飛行する航空機への飛行支援を行う。

(1) イベント開催・支援事業

①サマースカイフェスタ2022の開催

開催日：7月31日（日）

場 所：たきかわスカイパーク

主 催：(公社) 滝川スカイスポーツ振興協会、滝川市

開催内容：未定

②イベント支援

道内各地で行われる航空に係るイベントに積極的に参加し、グライダースポーツ並びに「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図る。また、一般のイベントにも積極的に参加する機会を求め、広くグライダー活動の周知に尽力する。

・2022北海道スカイスポーツフェア in 余市

開催日：9月4日（日）

場 所：余市農道離着陸場

主 催：(公社) 北海道スカイスポーツ協会

支援内容：未定

・レッツ・スカイスポーツ（仮称）

開催日：8月7日（日）

場 所：チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）北3条交差点広場

主 催：(公社) 北海道スカイスポーツ協会

支援内容：グライダー地上展示

(2) 交流人口拡大事業

①観光客受け入れ事業

フライトシーズン中、観光客の体験飛行を受け入れる。

②ワーケーション受け入れ事業

滝川市と連携し、ワーケーションの仕組みを活用したスカイスポーツ活動への参加者を受け入れる。併せて、リモートワークに対応可能な施設環境の整

備を行う。

(3) スカイパーク施設の管理・運営事業

滝川市から委託されている航空科学センター（たきかわスカイパーク）の指定管理者として、施設運営及び事業を展開する。

(4) フライトサービス局による航空情報提供事業

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行う。

II 利用者への施設提供事業（その他の事業1）

たきかわスカイパーク利用者に対し、以下のサービスを提供する。サービス提供時には新型コロナウイルス感染症への予防対策を徹底する。

- ①たきかわスカイパーク利用者への宿泊施設の提供
- ②たきかわスカイパーク来場者への飲食物の提供
- ③スカイスポーツ関連の物品の販売

航空安全

的確なブリーフィングや安全教育を通して、スタッフ及び会員並びに飛行関係者の安全意識の高揚を図り、危険に対しての的確な見積りと確実な基本動作を実施させて、航空無事故を継続する。

無事故目標： 2,862 日

法人運営

1. 会員の入会促進

各種イベント等を通じ、個人会員の入会勧誘を積極的に進める。併せて、市内個人・法人に対する当協会への理解を深めていただくよう働きかけ、正会員や賛助会員への入会を積極的に勧めていく。

2. 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ等を活用して、当協会の運営に関する情報公開を進める。

3. 業務体制の充実

職員（整備士）を1名採用し、業務体制の充実および後継者育成に努める。